

患者さんへ

## 疫学研究「外傷性窒息の臨床的特徴に関する検討」 についての説明文書

### 1. この疫学研究の目的

外傷性窒息とは、胸部から腹部にかけての強い圧迫により呼吸および血流が障害され、顔やくびを中心として紫紅色の腫れと微小な出血が出現する比較的稀な外傷病態です。重症外傷の併発例や心停止例を含むもの、含まないものなど報告は様々であり、それに伴ってか、外傷性窒息の死亡率は 0-100%と幅があまりに大きいのが現状です。しかしながら当センターでも重症外傷や心停止を伴う外傷性窒息を多く経験していますが、心停止例への治療反応性は必ずしも悪いという印象はありません。また、これまでに心停止例とその経過や治療反応性を含めて詳述したものはありません。

そこで今回、2007 年 4 月から 2019 年 3 月に当センターが関与した全ての外傷性窒息について心停止の有無に着目し、臨床的特徴を分析することとしま

した。その特徴に一定の傾向がみられる場合には、今後の日常臨床はもちろん、本病態の傷病者の多数発生が危惧される群衆雪崩（人が重なりあって生じるドミノ倒しの状態）の際などの治療方針にも応用できると考えています。

## 2. 疫学研究期間

倫理委員会承認後から 2021 年 12 月

## 3. 疫学研究の方法について

2007 年 4 月から 2019 年 3 月に当センターが経験した外傷性窒息について、病院前活動記録、診療録、兵庫県監察医務室による死体検案報告書・解剖報告書を用い、救出時既に心停止であった群、救出後に心停止となった群、経過中心停止に至らなかった群に区分し、患者背景、Injury Severity Score と胸部 Abbreviated Injury Scale（どちらも外傷の重症度を点数で表すものです）、心停止・自己心拍再開の有無、主な治療、転帰を調査します。

#### 4. 疫学研究への参加の自由と参加のとりやめについて

この疫学研究に参加するかしないかは患者さんの自由意思によります。参加をお断りになられても、不利益を受けることはありません。たとえそれが疫学研究中であっても、患者さんはいつでも参加をやめることができます。その場合は担当医師に申し出てください。また、ご遺族も含めて代諾者等の方も患者さんと同様に中止の申し入れをすることができます。

#### 5. 患者さんの人権・プライバシーの保護について

この研究では、個人を特定できるような氏名・診療カード番号・住所などの個人情報登録しません。また、人間関係や会話内容なども一切使用しません。施設内の個人情報管理者が、厳重に元データを保管・管理しております。

ご心配な点がございましたら、下記当院担当までお問い合わせください。

#### 6. この研究に関連する危険性、健康被害について

この疫学研究は、診療録に記載された患者さんの情報を登録するもので、患者さんへの危険性や健康被害が起こる可能性は、一切ありません。

## 7. 費用の負担について

この疫学研究に参加することによる患者さんの費用負担は、一切ありません。

## 8. 疫学研究を担当する医師の氏名・連絡先

この疫学研究について分からないことやさらに詳しい説明が欲しい場合、気がかりなことがある場合は、いつでもご連絡ください。

疫学研究責任医師

氏名：菊田正太（所属；兵庫県災害医療センター救急部）

連絡先：078-241-3131 内線 5570